

地域とつながる 福看 コミュニティ&カフェの取り組み

〈カテゴリー〉④連携（地域・多職種等）

〈学校概要〉 福島看護専門学校

福島県福島市栄町1番37号

3年課程、1学年定員数40名、修業年限3年



福看コミュニティ&カフェの目的：地域から愛され信頼される学校づくりにつなげる

- (1) 学生が「地域で生活する人」に関心を示し、コミュニケーション能力を高める
- (2) 看護の対象となる「あらゆる健康レベル、あらゆる発達段階」にある人々にふれあい、対象の理解につなげる
- (3) 地域の方々にコミュニティの場を提供することで、生き生きと生活してもらうための機会とする。

内容：本校は福島駅前という立地から、周辺には商業施設、ホテル、病院、スポーツジム、マンション、住宅もあり、多くの人が行き交う生活の場であるといえる。しかしながら地域に対して学校の存在を知っていただく機会が少ない現状があり、地域とつながる架け橋として令和7年度より開催に至った。

学生作成のポスター

↓町内会・近隣商業施設に掲示



令和7年度開催実績	
開催日	来校者数
10/8(水)	34名
10/21(火)	35(4)名
11/6(木)	44(10)名
11/13(木)	36(22)名
計	149名

※()内はリピーター数



←玄関エントランススペースで開催
待ちゆく人にも呼びかけ!!



学生・教職員でお出迎え!



お茶を飲みながら、合間には血圧測定も↑

← オセロや花札、折り紙の実施

季節の飾りも作成!! 昔の遊びを教えてくださいました



3年生を中心に10時~12時、13時半~15時半と1日2回カフェを開催。学校正面玄関エントランスを使い、来校者を迎えた。ポスターで開催を知った方や用事で近くまで来られた方もおり、学生、教職員ともに地域で生活する方と直接交流することで、看護学校や看護学生について知っていただくことができた。地域で生活する方の健康管理や余暇の過ごし方などうかがい知ることができ、穏やかなひと時を過ごすことができた。

教員の感想：訪れた方から「いつも家でひとりだと誰とも話す機会がなかった」「近くにこういう場所があるのが楽しみ」「ここで仲間ができた」「がんばってね」などの生の声を直接いただき、福看コミュニティ&カフェが人と人とのつながりを広げる可能性があることを改めて実感することができた。また、地域の方々の看護学校への期待や看護師を志す学生への希望を強く感じることができ、その思いは学生にも伝わったと考えられる。福看コミュニティ&カフェは、学生が地域とつながることの楽しさややりがいを見出し、これから地域を支える仕事に就くという自覚と自信も育てているといえる。学校は学びの場だけでなく、人と人をつなぐ場でありたい。



今年度は、5/20に第1回を開催!

多くの方にお越しいただきました。

これからもお待ちしております